

エルサルバドル日記 JICA



シニア海外ボランティア

平成26年度第4次隊 氏名：原 美子 職種：障害児・者支援 派遣国：エルサルバドル

エルサルバドルのサンミゲル特別学校について

エルサルバドルの校舎は、国旗の色と同じ青と白で統一されています。サンミゲル特別学校には、知的障がいや肢体不自由、視覚障がい等のある4歳から25歳までの児童・生徒196名が学んでいます。午前の部（7時15分～11時45分）と、午後の部（1時15分～5時15分）の2部制になっています。給食がない代わりに、2時間目と3時間目の間に、おやつがでます。フリフォーレスという小豆に似た豆をご飯にまぜたものや、牛乳にご飯を入れたものが主なおやつです。校内には売店があり、休み時間には1コーラ（約25円）で買える果物やスナック菓子、飲み物などがあり、自由に買うことができます。



サンミゲル特別学校とスペイン語で書かれた青色の塀



今日のおやつは、煮豆入りごはん（お赤飯のような色）と、牛乳

エルサルバドル共和国独立記念日のパレード

9月15日は、エルサルバドル共和国の独立記念日で祝日です。この日を祝うために、全国の子どもたちが自分の住んでいる町をバンド演奏しながら行進します。この日のために、何日も前から練習を重ねてきました。本校サンミゲル特別学校も7月から練習を再開し、この日のパレードに参加しました。今年のレイナ（王女様）を先頭に、ダンシングチーム、バンドメンバー、全校生徒全員参加です。そして、子ども達を見守る保護者の方々も一緒に歩くので、大移動になります。沿道には、たくさんの人がこの行進を見ようと集まっています。こうして、国中で独立記念日をお祝いします。



堂々と胸を張って行進するバンドメンバー



白いドレスの今年のレイナ（王女様）は高校生